



大井町立相和小学校

学校通信

《発行日》

令和3年12月17日

《発行者》

露木光人

《学校教育目標》 豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～



学びの成果を伝えた学習発表会 ～さらなる成長を感じた一日～

11月13日（土）の相和祭を終えて、子どもたちは日頃の学習とともに、学習発表会への準備を本格化させていました。日頃の学びの成果をアウトプットする絶好の機会となり、この発表会をとおして子どもたちはさらなる成長をしたと実感しています。

当日を迎えるまでには、台詞の言い回しの難しさから何度も繰り返したり、より伝えやすくするための小道具を作成したりと、試行錯誤の日々でした。それらの工夫は、この発表会が終わったのでおしまいにするのではなく、今後の学びにもぜひ生かしていきたいところです。

次の写真は、職員が撮影したものになります。全員を掲載したいところですが、写真の大きさの関係で一部となってしまうことをお許しください。今後は、子どもたちの振り返りや保護者アンケート、そして各クラスの人数が少なくなってきた現状を踏まえ、次年度以降のあり方も検討していく予定です。



全校音楽



1年「やくそく」



2年「そうわの大ぼうけん」



3年「大井の宝」



4年「手で楽しく音楽」



4・5年合奏



5年「サブリ米を育て隊」



6年「未来へ残そう 相和の竹」

「子育てアラカルト④ ～言葉遣い～」

学校で過ごす時間は、子どもたちが社会に出て活躍するための準備の期間といえます。学んだことについては、単に「テストで100点とれたので、よくできました」ではなく、習得した知識や技能を「わかった」「できた」で終わらすのではなく、「使える」「生かす」ことにつなげるよう日常生活と関連させて、継続的に指導しているところです。

学習面のみならず、生活面においても、学んだことを自分のものにすることは大切になります。例えば、社会に出て他者と関わる時、言葉遣いが時と場に応じて適切に使えるということが大きなメリットとなることは、保護者のみなさんも感じられているのではないのでしょうか。

さて、現在の学校を振り返ってみますと、職員室に入るときは型があり、「失礼します。〇年の△△です。□□先生に用事があって来ました。」という指導をしており、年度当初は難しかった1年生も、今は正しく言えるようになってきました。それ自体は成長なのですが、他学年も含め、それ以外の場面で教職員と丁寧な言葉でやり取りができているかといえば、自信をもって「はい」とは言えません。丁寧な言葉を発することが難しい状況を「子どもらしくてよい」という考えもあります。しかし私は、いずれ丁寧な言葉を使う必要があるのですから、小学生の段階において指導しておくことはよいことと思います。丁寧な言葉をお互いが使うことで、学校の雰囲気も引き締まります。



校外学習でいろいろ学びました

1・2年生「松田」方面【12月10日】 3・4年生「相模原・厚木」方面【12月7日】

当初、9月に予定していた1～4年生の校外学習でしたが、緊急事態宣言下だったため、12月に延期となりました。感染拡大の状況が落ち着き、他の行事も終えたこの時期に、1・2年生は松田町にある「こどもの館」と「自然館」に、3・4年生は、「相模原市相模川ふれあい科学館」と「神奈川県総合防災センター」に出向き、数多くのことを学んできました。

校外学習は、日頃教室で体験することが難しい学びを、学校の外に出て味わうものとなります。

1・2年生は、自然物を使っの新たな遊び方を教えていただき、今後の交流行事に生かそうとしていました。3・4年生は、今後、知的好奇心や知的探究心が旺盛になるこの時期に体験活動ができ、特に防災については、意識の向上が見られました。

いずれの学年も、関わってくださった職員等の方々に丁寧な挨拶やお礼ができたという報告が担任からありました。そういう点においても充実した学びであったと思います。



両施設とも初めていった子が多く、興味津々でした！



自然が大好きな1・2年生は、大喜びなことばかり！



学力・学習状況調査から見えてきたもの

～本校児童の強みと課題～

今年度は、「国語」「算数」「質問紙」により5月に実施された調査ですが、本校の現状について次のとおりお伝えいたします。

【国語】「知識及び技能」については、特に文中で漢字を正しく使うことができていました。保護者のご協力のもと、家庭学習の充実が図られ、自主的かつ工夫した学習習慣が身に付いてきたことの表れです。「思考力・判断力・表現力等」については、日頃の授業において、自分の考えを伝えるということはできていますが、資料を効果的に活用して、わかりやすく伝えるという点が課題として挙げられます。学習（授業）において、条件がある中での話し合い活動や書く活動を意識して取り入れるよう改善していきます。

【算数】「知識及び技能」については、下学年で学んだ内容は、習得が図られていましたが、割合や複合的な問題などについては、自分の考えを整理して解答を導くことが課題として挙げられます。

「思考力・判断力・表現力等」については、日常生活の場面に即して判断する力に一定の強みが見られました。一方、必要なデータが何かを判断し活用することに課題が見られたので、学習のめあての立て方やデータの提示の仕方を工夫するなどの指導方法の改善を図ります。

【質問紙】本校の長年の特徴として、「自己有用感」「規範意識」に係る設問に対し、肯定的に回答した児童の割合が非常に高いことが挙げられます。「将来の夢や目標をもつ」「人の役に立つ人間になる」という設問に対しても、全員が肯定的な回答をしていました。学校はもとより、日頃からご家庭におけるお子さんへの接し方の温かさがあるからこそであると実感しました。



感謝の心を伝えたい！

ありがとう集会「人は支えられながら生きる」【12月14日】



以前から聞いてはいましたが、4月に赴任してみて、改めて相和小は、地域に支えられてた学校であると実感しています。子どもたちが素直で明るく、優しい子が多いのは、教職員のみならず、地域の方々が支えてくださり、本校の児童全員を我が子のように見守ってくださっているからです。

12月14日に、15名（ご都合により出席できなかった方が他にいられました）をお招きし、感謝の言葉を精一杯伝え、最後には全校合唱「やさしさの玉手箱」をお贈りしました。

今後は、これまで支えてくださったお返しとして、我々が地域に何ができるかを考えていきたいと思います。学校・家庭・地域が一体となっている相和小が大好きです！

